

2024.10
Vol.129

にいだがわつうしん 新田川通信

発行元：(有)佐藤建業

南相馬市原町区北新田字広田170

Tel : (0244) 22-7619

Mail : info@sato-kengyo.jp

<https://www.sato-kengyo.jp>



今 新田川では 馬越橋(うまこえはし)



ここは飯館の二枚橋字町地区で、数年前に新しくなった道から南に向かうと「林道二枚橋線」の看板があります。そこから少し行った所にある新田川に架かる「馬越橋」です。橋の長さは30mくらいです。

暑かった日々が、お彼岸を過ぎてやっと涼しくなり、久々の青空の日でした。

昭和55年11月竣工とあります。すぐ上流で二つの流れが合流しています。川の中を覗くと、ガマの穂が群生して、小魚たちが好みそうな流れです。ドライブに疲れた時など、ちょっとエンジンを止めて、ここで小休止はいかがですか？

大工さん 今日はどんなお仕事？

Before



今回は、S様邸のウッドデッキ交換工事です！無垢材をご希望でしたので、新しい材料には屋外での耐久性が高い木材を使用しました(`・ω・ ')



After

使用した木材はブラジル原産の「イタウバ」という木です。少し毛羽立ちはあるものの、さすがに出にくく、裸足で歩くのにピッタリ。1枚ごとに色合いにバラつきがありますが、それが「味」になります。経年で銀色っぽく変わっていきます。耐用年数が20年以上と長く、フェンスの素材にもオススメです。

お家の火災報知器は大丈夫ですか？

火災報知器は、設置から10年を目安に交換することが推奨されています。また、中に入っている電池が切れると、いざという時に警報音が鳴らなくなるため、定期的に確認するようにしましょう。

(「電池切れです」と警報が鳴ったり、赤いランプが点いて報せてくれます)

火災報知器はご自分でも交換可能なものです。天井に付いているため、交換が難しい場合は、佐藤建業でもご依頼を受けています。

これらの季節は、乾燥やストーブ使用による火災が増えて、春先には火災が最も多い時期になります。

安心して暮らすために、火災報知器をしっかり管理しましょう。



《社員紹介コーナー》



今回は、大工の文雄さんです！

リフォーム工事の床貼りをしているところで写真をパチリ。物静かな大工さんですが、話しかけると気さくに喋ってくれます(*^-^*)好きなものはお酒と柿ピーだそうです。

■お得な情報ですよ～！

別紙のチラシにて、耐震診断無料キャンペーン(第二回目)のお知らせがあります。(抽選で限定5棟) この機会に、是非ご応募ください！

《大工さんのアイテム》 電工ドラム

長い電源コードがぐるぐる巻きになった、電源を供給するドラム（リール）。コンセントから離れた場所で電動工具を使用するために、工事現場でよく見かけるアイテムですね。

『漏電遮断機付き』『温度感知機能付き』『金属センサー付き』『防雨、防塵型』などの機能付きドラムがあります。

（この中で一番わかりにくい金属センサーとは、コンクリートを破碎する時に、内部の鉄筋に当たった時にセンサーが金属を感じて通電を遮断してくれる機能。すごいですね！）

尚、電工ドラムは一般家庭でもDIYでお持ちの方も多い品ですが、使い方で注意点があります。コードを巻いて収納するためのものなので、使用時はコードを全て引き出して使用しないと、熱を持って最悪発火することがあります。

（これは家庭用の掃除機も同様で、黄色いテープが巻かれているところまでコードを引き出して使用しないと、火災の恐れがあるので注意です！他の家電も、電源ケーブルはぐるぐる巻きのまま使用してはいけませんよ～！）

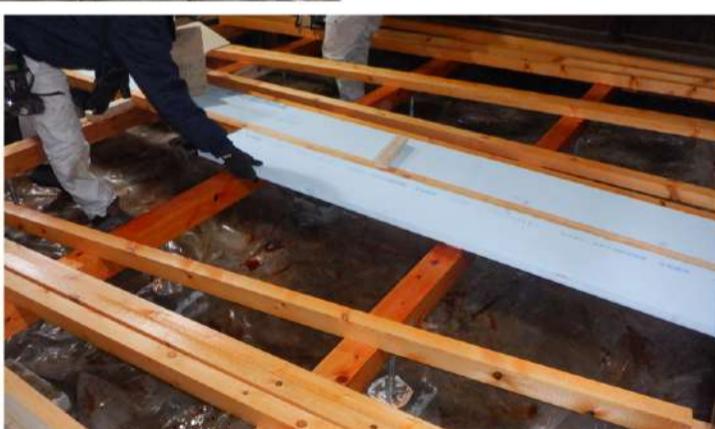
こんな工事ができますよ～！



これは床の修繕工事をしているところです。傷んだ下地を交換し、土間シートを貼って、鋼製の束を入れたら断熱材を入れて床を貼っていきます。木材にはシロアリ防止の薬剤を塗っています。

畳からフローリングにしたり、床暖房や床下点検口を付けたりも出来ます。

シロアリや湿気で床がブヨブヨした状態を放置すると良くないので、不安な場合はご相談ください（＾＾）ゞ



10月（神無月）は出雲のお話をどうぞ。

出雲神の縁結び

いづもがみ
えんむす

出雲の神さんは縁結びの神さんで、朝から晩まで何百何千組の縁結びをしていなさった。それが毎日のことじやて、初めの頃は「あそこの息子とここの娘」と選んでいなさるが、昼頃になり、そして晩方には「あれこれ」になってしまわれる。

そうなったら間違いが起き、不幸になるそうな。

ところで、この神さんにも三十歳にもなる娘がいて

「お父さん、他人のことより実の娘の方が大事じやろう。

早う私の相手を決めておくれえ」

「実は…とうに決まつとのじやが、あんまり不似合いな

話で言いそびれとるんじや」

「お父さんがそう思うても、私のことだ。誰か言うておくれ」

「…遠い他国の山奥で炭焼きしとる、ど貧乏の男じや」

それを聞いた娘は婿さんのおる山奥に旅立ってしまった。

「私は、あなたの嫁にと神さんが決めた者ですので

今日からここに置いてもらいます」

「そんなこたあ俺は知らん。俺は貧乏で嫁を貰うどころではない。俺あ困る」言うていさかいしとったが、男が根負けして

工事で使っているドラム

自宅のDIY用ドラム



▽巻いたまま…



火災にならないように、使用時はコードを全て引き出しましょう！



▽正解！



大工さん募集！

佐藤建業では、一緒に働いてくれる仲間を募集しています。

匠の技を継承する
大工さん、大工見習い
求む！



年齢・性別問いません！
採用情報など、詳しくはお気軽に
佐藤建業（☎ 0244-22-7619）まで
お問い合わせください！

二人は夫婦になって暮らしたと。

何日かしたら米が無くなって、嫁さんが「どうしましょう」と言うと「米は炭と取り換えておるが、次い焼きあがるまでまだ間がある」「ほんなら、これを持って行って買って来ておくれ」と嫁さんが懐から金の小粒を出した。

「こんなもんで、米と換えてくれるんか？」

何せ錢を持ったことのない男じやて、不思議でならん。けど、男は言われたとおり山を下りた。途中、橋を渡っている時、男は金の小粒を一粒落とした。川をのぞくと、魚が寄ってきて小粒を突いとる。「こりや面白え」次の小粒も落としついにみんな落としてしまい、手ぶらで家に戻った。

「あら、米はどうしました？」と嫁さんは聞いた。

「うん実は…」と全部話したと。「まあ、あれで何でも買えるのに…」嫁さんが呆れた。男は「あんな物なら炭焼き窯の横になんぼでもあるで」と言う。

何とそこは金の山で、一面に金の塊がゴロゴロしとる。

嫁さんはびっくりして「こんならあんたも炭焼きすることあ

ない。楽うしておくれ」と言うて幸せに暮らした。

出雲の神さんが「あれこれ」と決めた縁でもうまくいく夫婦もあるもんじやそうな。

縁
結び